



歴史

1894年（明治27年）
（東京湾浚渫事業2号）



鉄工業地帯として発



アクセスの良い安住
住宅、会社、人口の



倉庫の減少

倉庫・マンション
注目されタワ
ーとしている。

年) に工業用地として誕生
(号地)



埋立地図 (明治 17 年)

発展



工場及び倉庫 (大正 7 年)

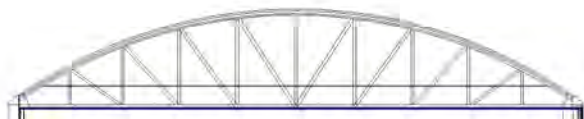
住の都市として見直され、
の増加



中央区における倉庫面積の推移 (昭和 50 年~平成 23 年)
(東京倉庫協会)



ンが混在している勝どき。銀座に歩いていけるという立地条件ゆえに、ディベロッパーに
マンションが建設されている。下町の雰囲気は薄れ、高級マンションだらけの街に変わろ
う。現在に残る倉庫のコンバージョンを提案する。



計画敷地：中央区勝どき4丁目

用途地域：第二種住居地域

建ぺい率／容積率：80%／400%

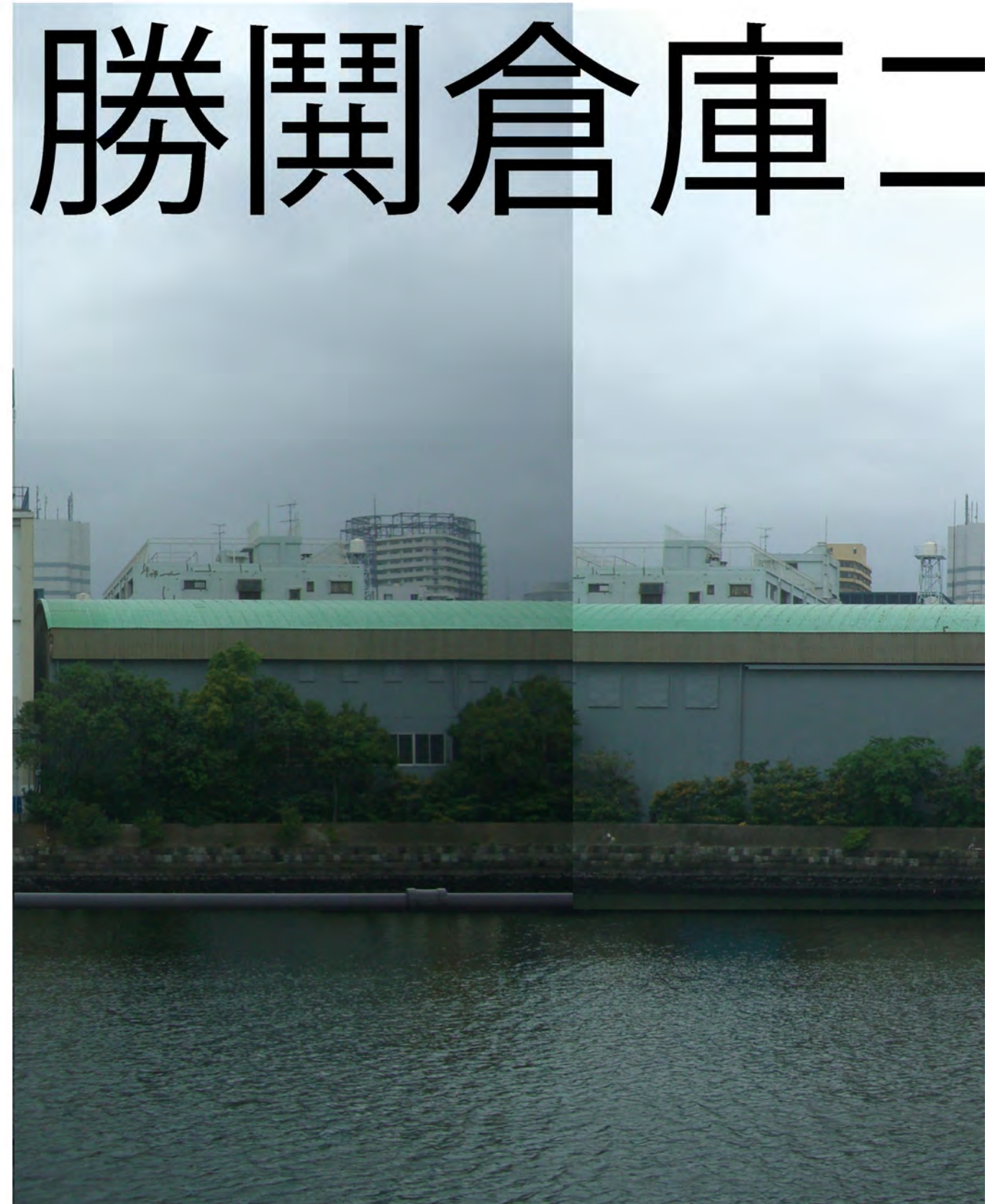
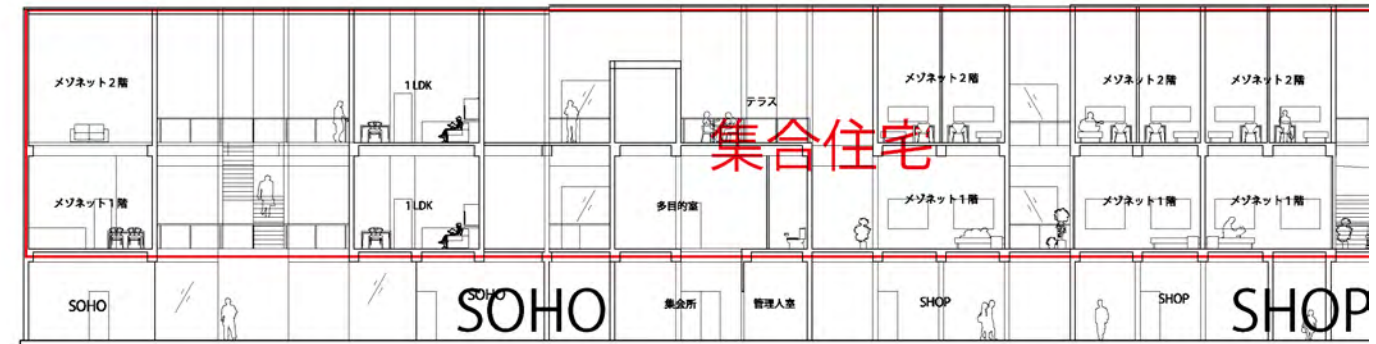
敷地面積：8142.75 m²

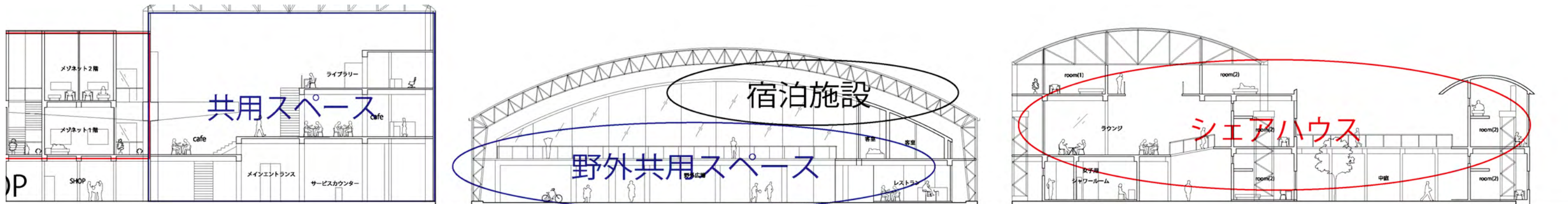
全長 × 奥行：175m × 46.53m

構造：鉄骨ダイヤモンドシェル構造（右、左）
鉄骨ダイヤモンドトラス構造（中央）

竣工年：1960年代

用途：右側	集合住宅	住戸 18戸	3LDK 8戸	102 m ²
			2LDK 2戸	92 m ²
			1LDK 8戸	57 m ²
		その他（SOHO SHOP ライブラリー cafe）		
中央	宿泊施設	客室数 15室	15 m ²	9畳
		その他（野外広場 子どもの遊び場 イベントスペース）		
左側	シェアハウス	収容人数 48名	2人部屋 23 m ²	14畳
			1人部屋 11 m ²	6畳
		その他（共有キッチン、シャワー、トイレ、ラウンジ）		

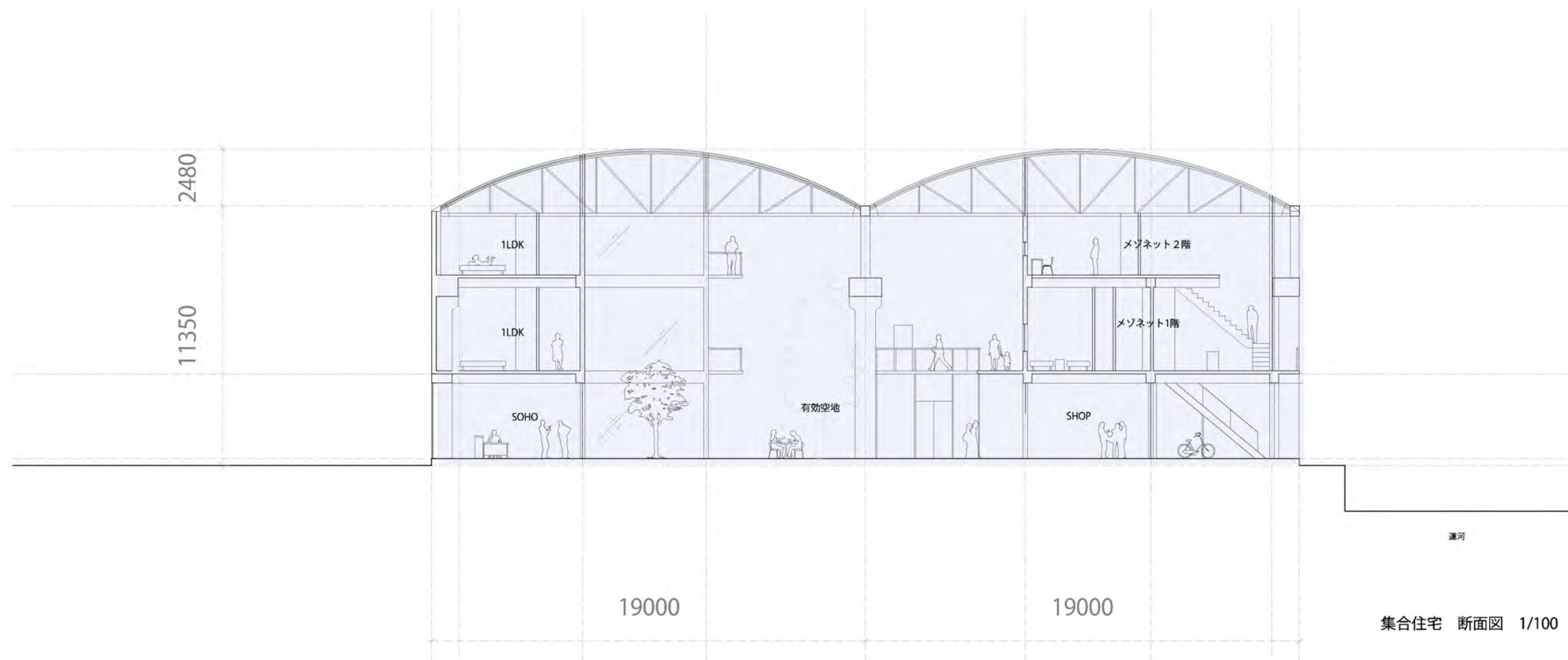




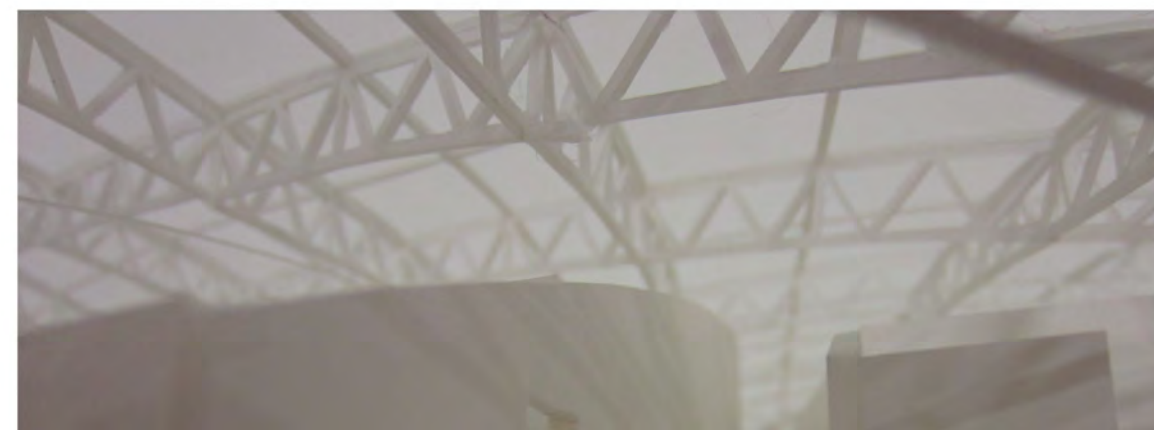
コンバージョン計画

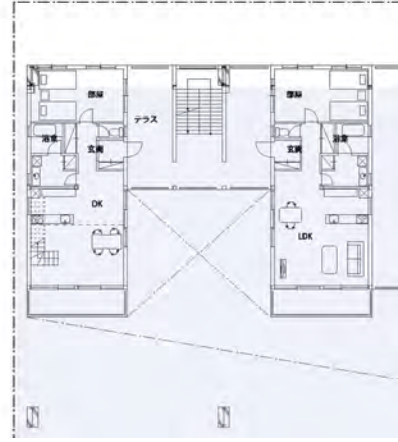
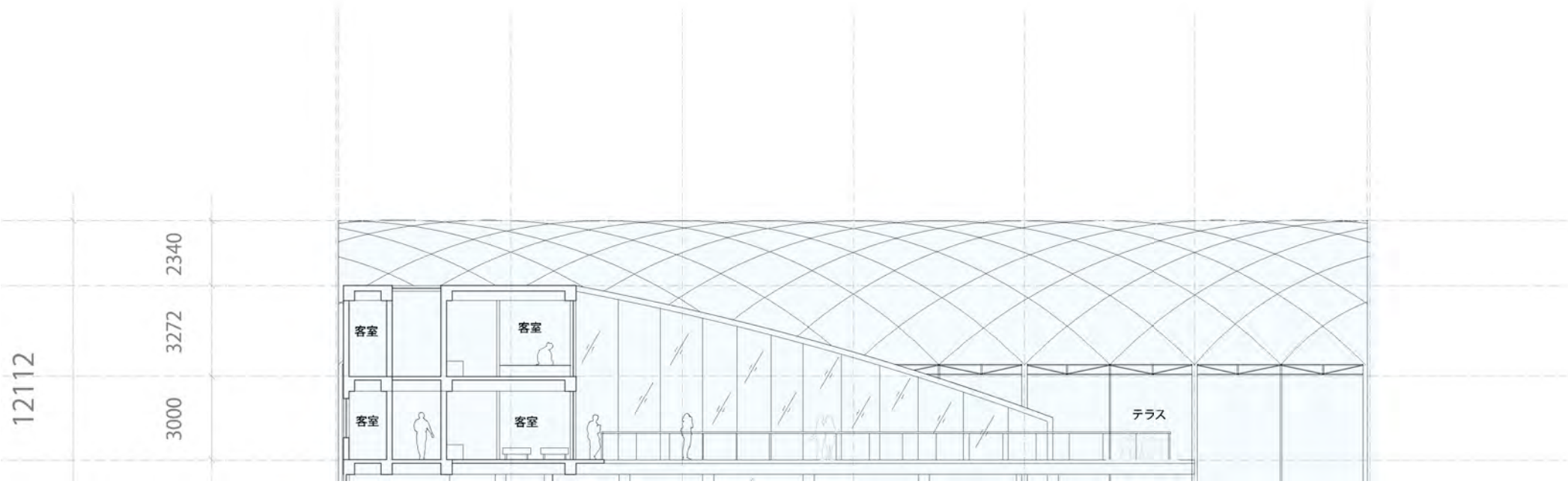
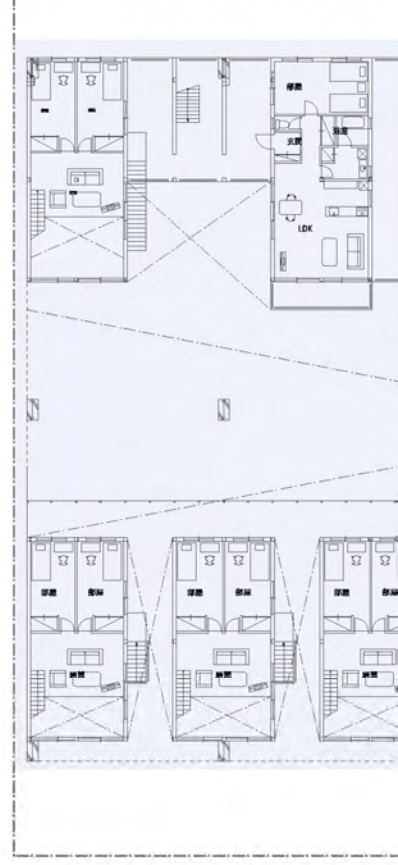
A5108428 山田 芽里

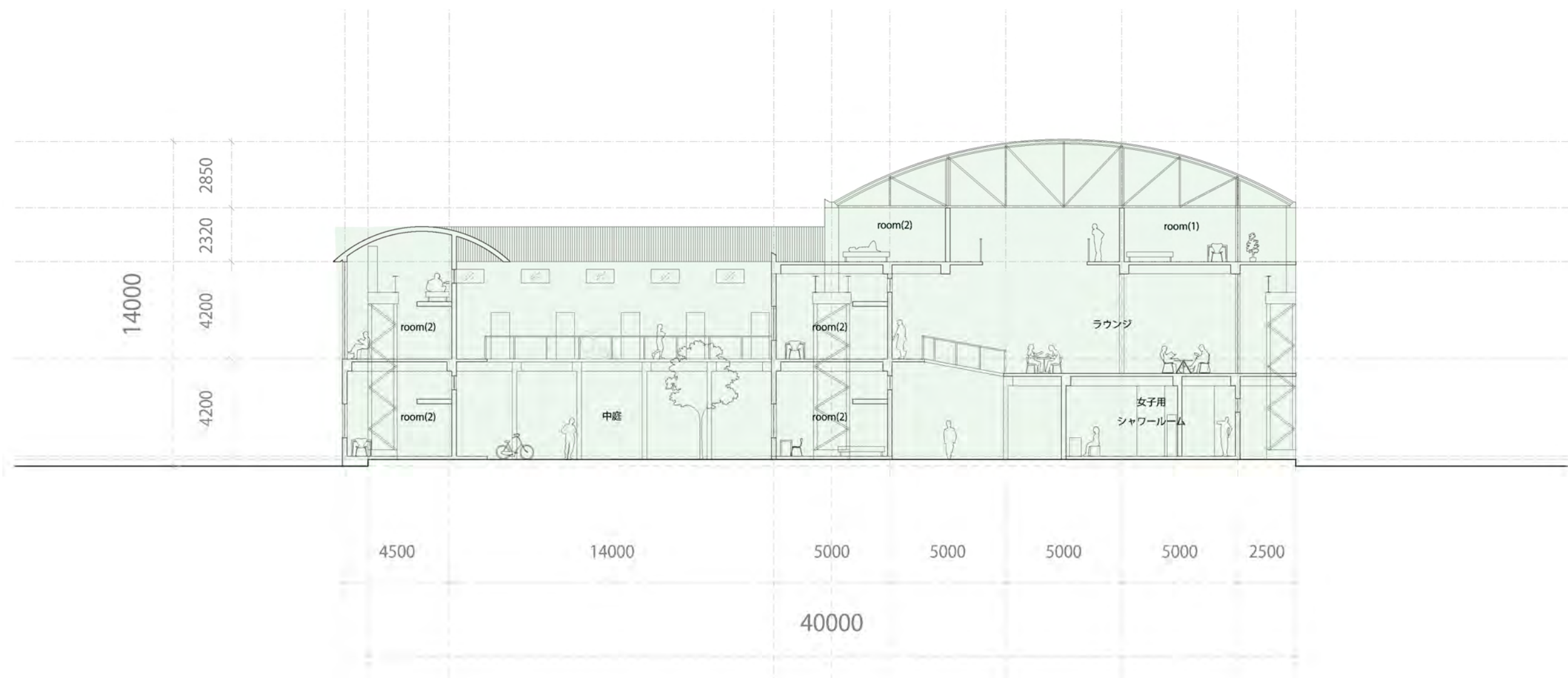
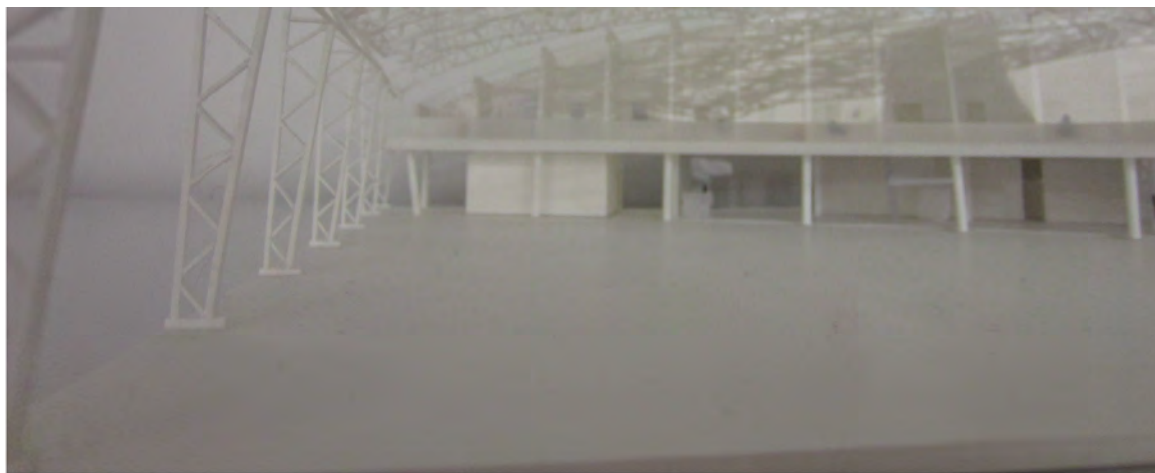




住戸それぞれに専用テラスがついており、集合住宅とは思えない程の開放感を追求した。
 一步外に出れば、柱屋根を臨む共有空間が広がっている。同じ屋根の下に住まう人々との昔ながらの「つながり」を感じることもできる。
 一階はSHOPとSOHO。二階以上が住戸となっている。

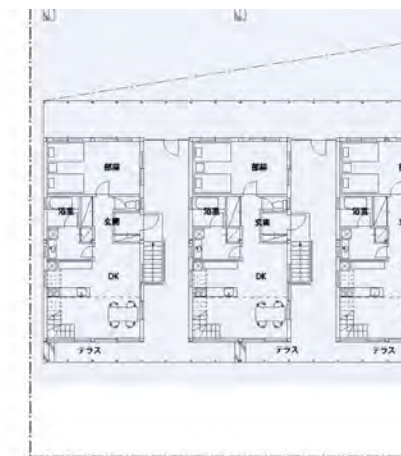
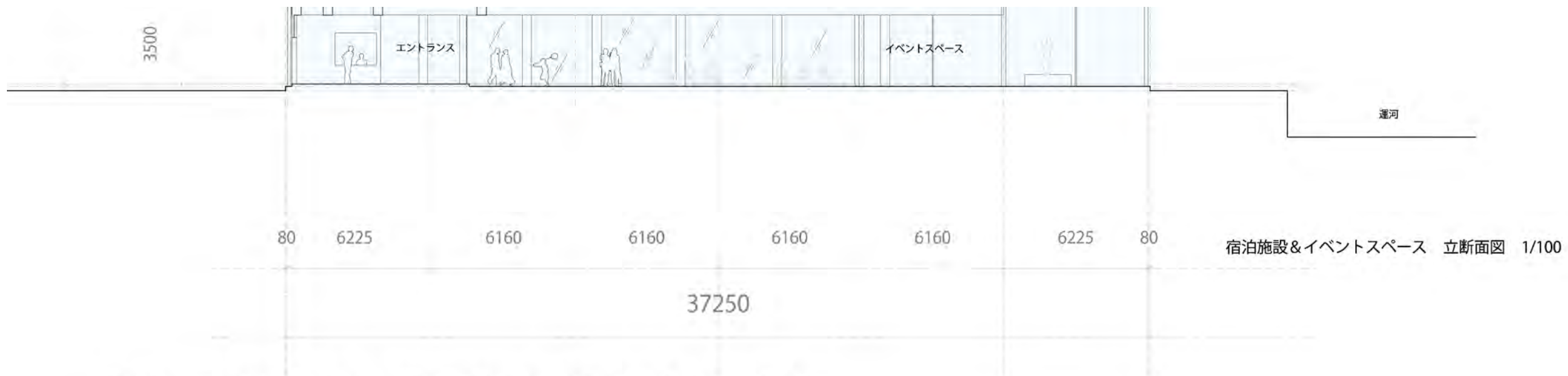




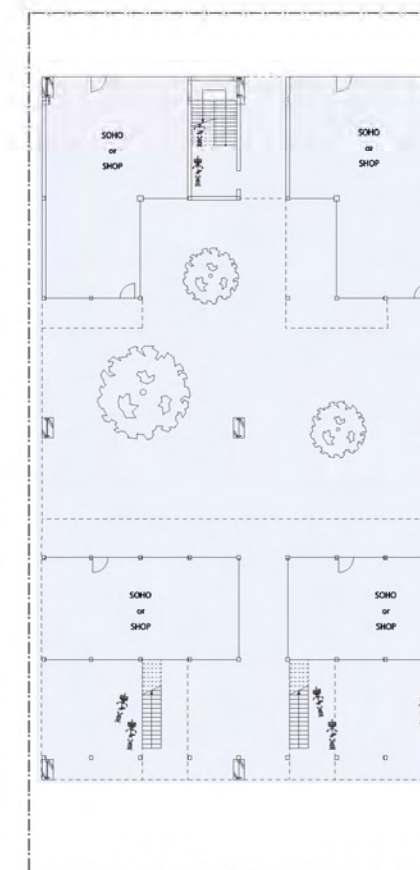


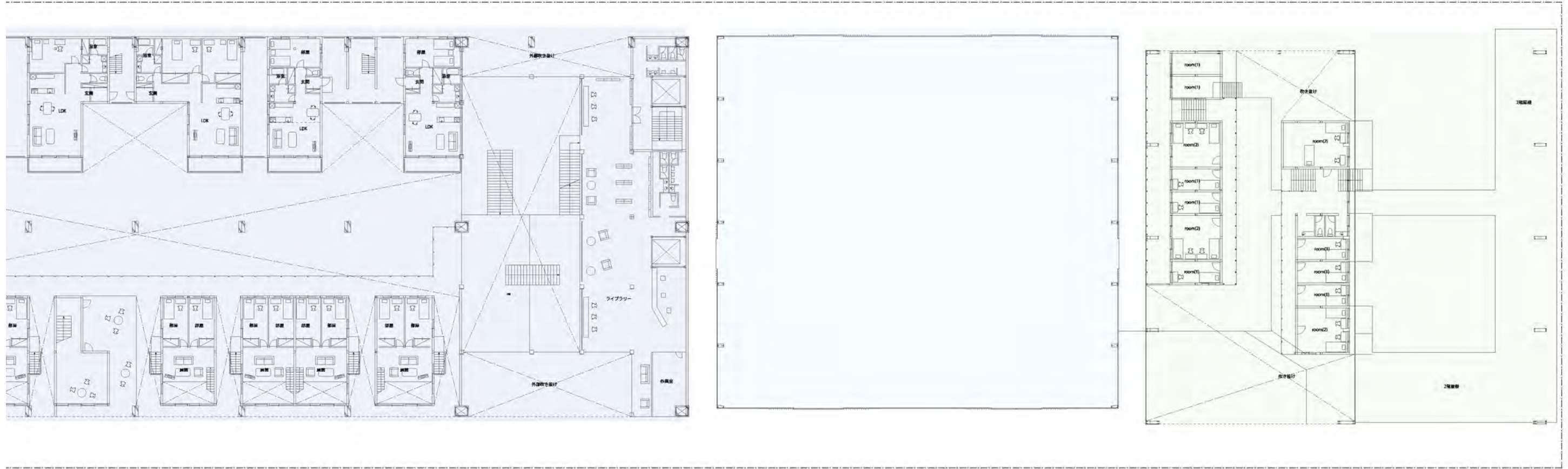
シェアハウス 立断面図 1/100

「私たちがどのような作りの建物に住んでいるか？」これは専門家でない限り、意識することは少ないだろう。シェアハウスというユニークな暮らし方に、ぴったりの柱を基調としたユニークな部屋割り。部屋から出た内部がトイレ・キッチン共有スペースになっている。

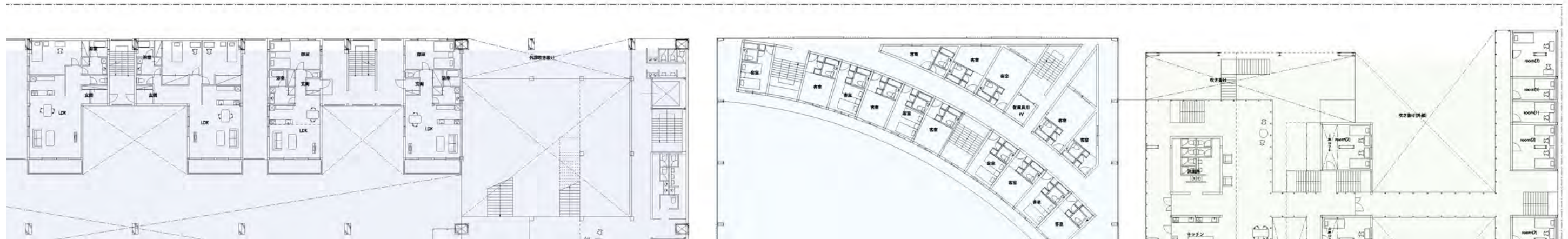


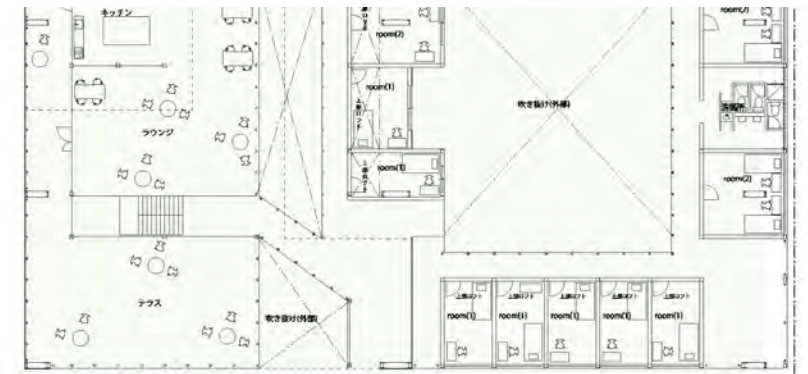
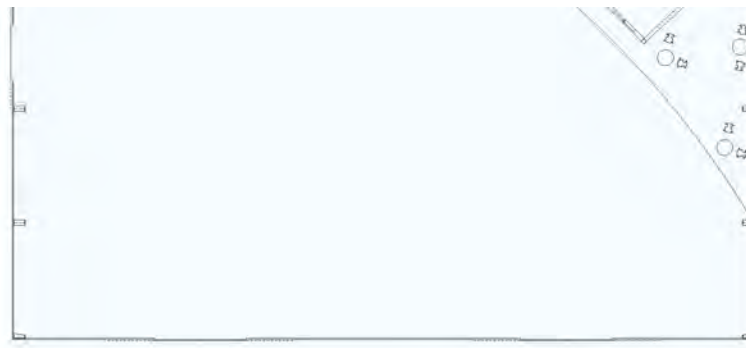
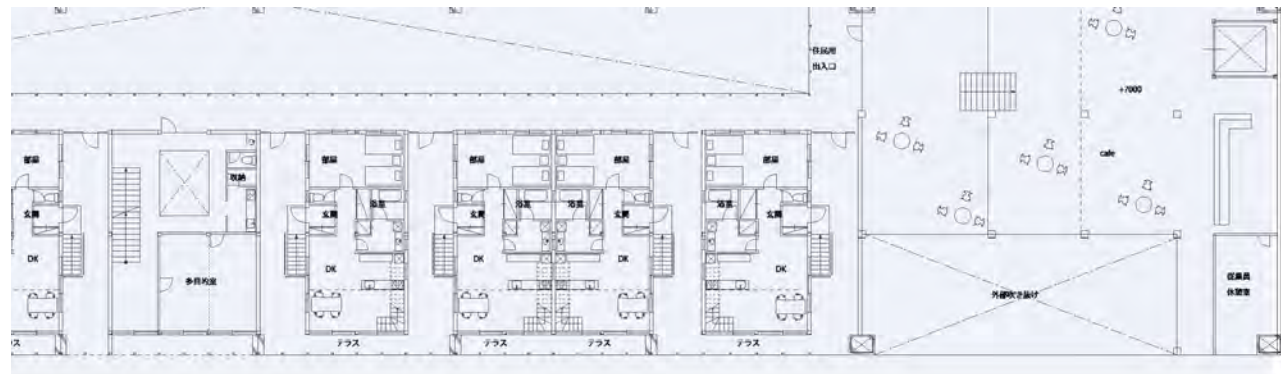
宿泊施設と野外共有スペース、イベントスペース、子供たちの遊び場からなる棟。
 「倉庫」という建造物の最大の利点である「広さ」を生かした共有スペース。
 ダイヤモンドトラスの屋根は自然の光をたっぷりと取り込み、私たちの楽しい時間を明るく包み込んでくれる。



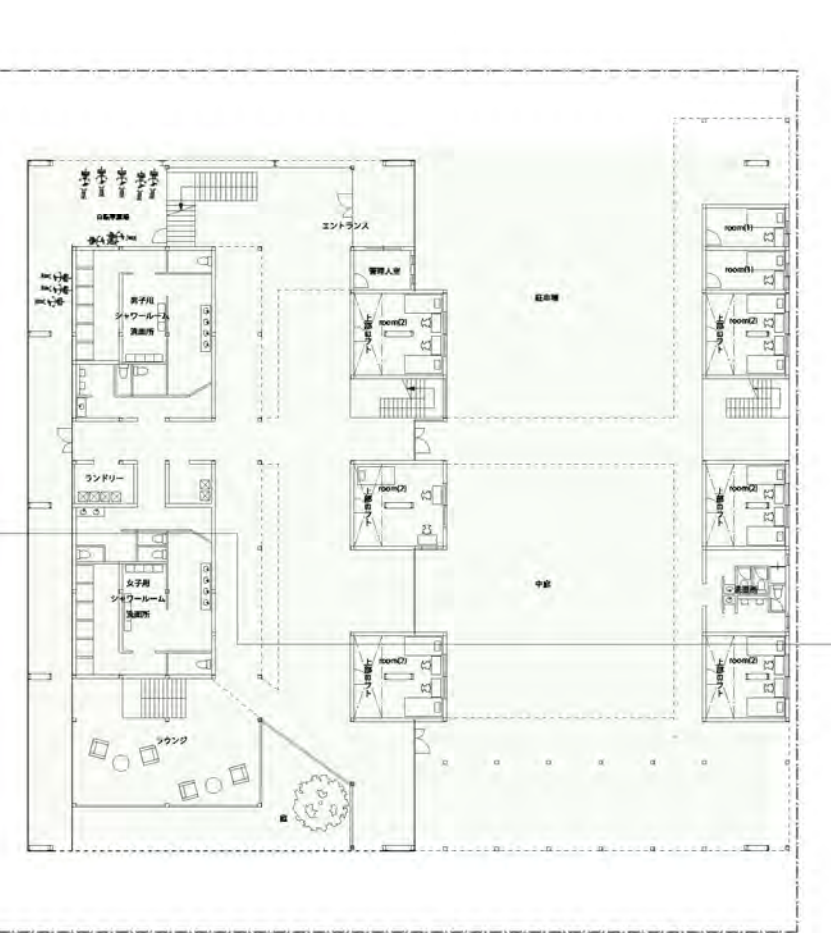
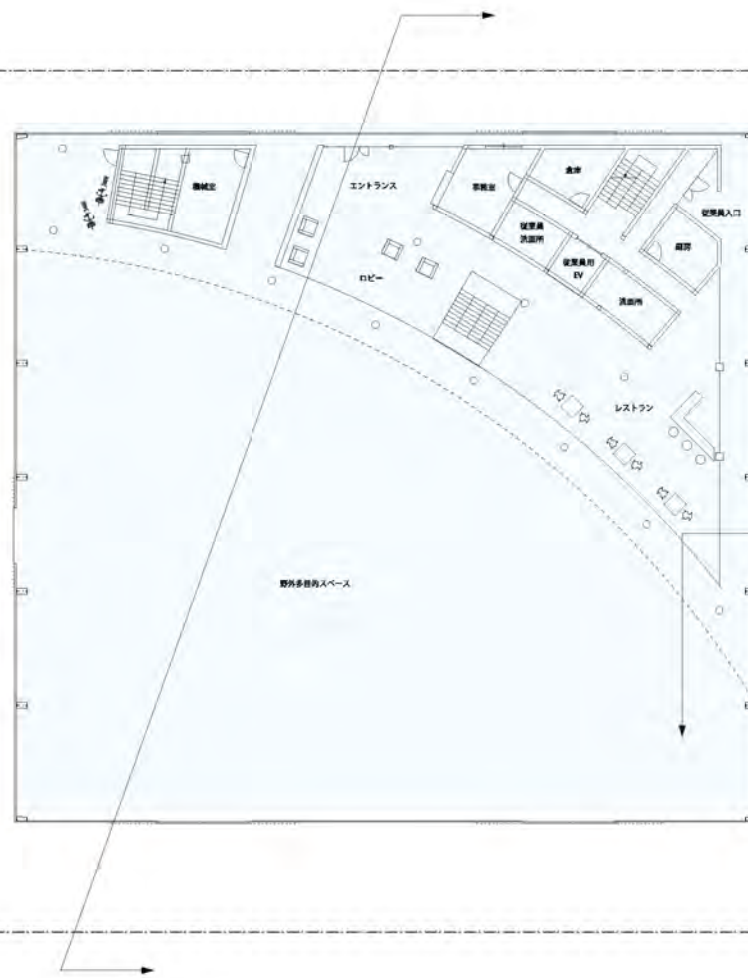
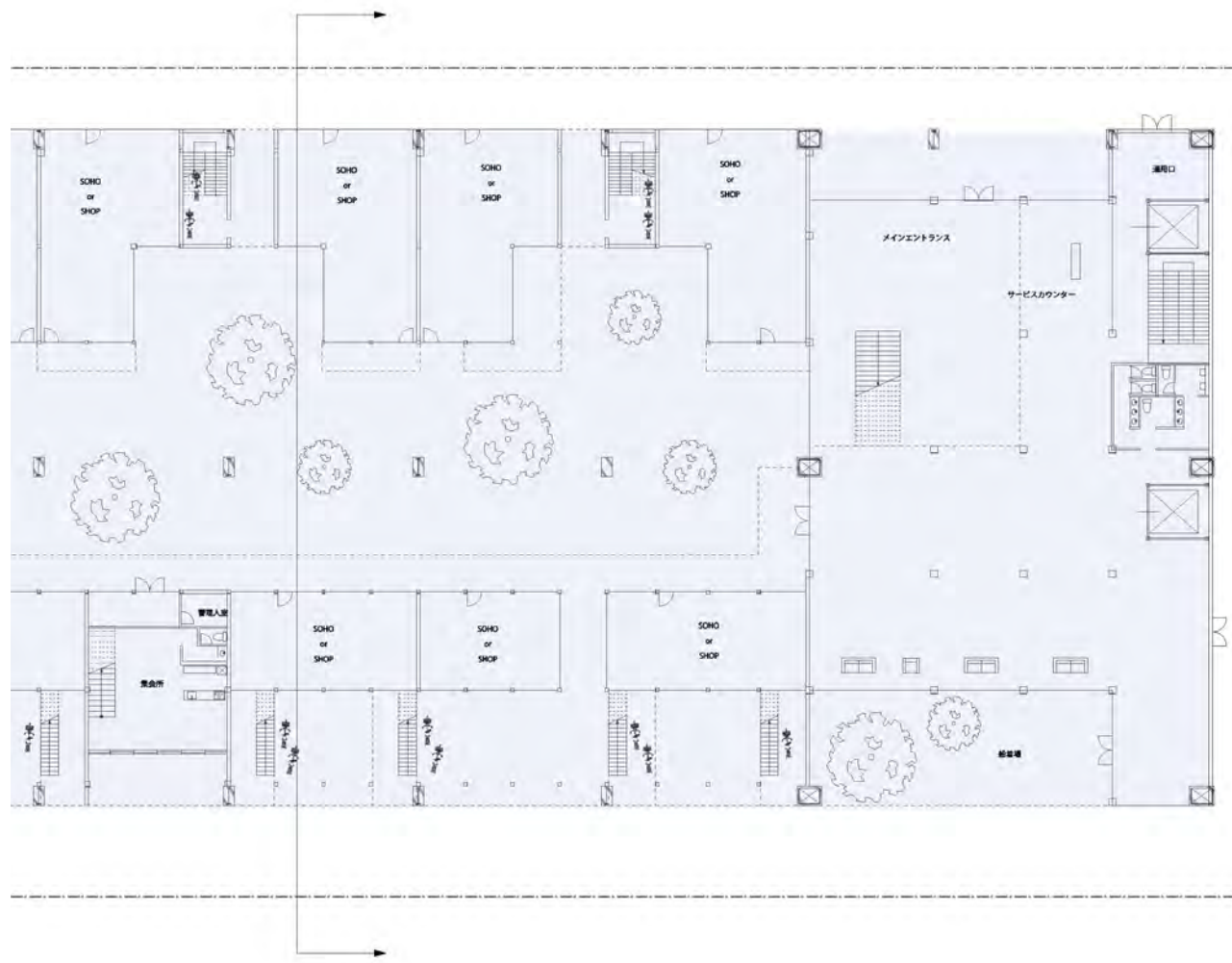


三階平面図 1/200





二階階平面図 1/200



一階平面図 1/200